

## 日本文化を考える

### 延慶本『平家物語』巻11を通して

木3 久保 勇 先生

キーワード： 古典文学 中世 軍記物語 天皇 神器 平家物語 怨霊 鎮魂 合戦

実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

**Web** 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

**ジャパンナレッジ** 【学内限定】

学内からのアクセスで『日本国語大辞典(第二版)』の検索が可能です。

**国文学研究資料館** 【<http://www.nijl.ac.jp/>】

日本文学研究の論文・資料を収集する際の基本的なデータベースです。

**国立国会図書館** 【<http://opac.ndl.go.jp/>】

文学のみならず、歴史学研究、民俗学研究など、総合的に資料・論文を検索する際はこちらを使いましょう。

**軍記・語り物研究会** 【<http://gunki.sakura.ne.jp/>】

軍記文学研究を専門にした研究会で『軍記と語り物』誌を発行しています。文献目録やリンク集が便利。

**NPO法人原典『平家物語』を聴く会** 【<http://www.heikemonogatari.jp/index.html>】

『平家物語』は目で読むだけでなく、声に出して読まれてきた歴史があります。図書館蔵の原典『平家物語』DVDの解説などがあります。

**図書** 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

のついている図書は、授業期間中(10月~2月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。

『平家物語』の入門書と事典

『平家物語研究事典』市古貞次編 明治書院 1978

『平家物語』に関する専門の事典。発行から30年が経過しており、この間の研究の進展によって修正しなければならない部分もあります。

【本館参考 913.45/H51】

『平家物語必携』梶原正昭 学燈社 1982

発行から年数が経っていますが、『平家物語』を学ぶために必要な情報が網羅されています。『平家物語』を歴史的に検証するための基本史料などはこちらを参照しましょう。

【本館閲覧室4階 913.434/KAJ】

『平家物語』(新潮日本古典文学アルバム13) 牧野和夫[編集・執筆] 新潮社 1990

「平家物語の成立」は成立問題について把握する上で参考になります。

【本館閲覧室4階 913.434/MAK】

『図説 平家物語』(ふくろうの本) 佐藤和彦ほか 河出書房新社 2004

豊富な図版と舞台となった地域ごとのトピック解説で、物語の舞台へ旅したくなるような一冊。

【本館閲覧室4階 913.434/ZUS】

『平家物語を知る事典』日下力, 鈴木彰, 出口久徳著 東京堂出版 2005

「平家物語を知る」=「平家物語をわかってもらいたい」という気持ちが込められた事典。ひいて調べる事典ではなく、読んで理解する事典。授業でも使います。

【本館閲覧室4階 913.434/HEI】

『平家物語図典』五味文彦・櫻井陽子 小学館 2005

書名の通り、豊富な図版で視覚的に『平家物語』の世界を把握することができます。

【本館参考 913.434/HEI】

『平家物語ハンドブック』小林保治 三省堂 2007

新潮古典集成本文をもとにした、あらすじがとて充実しており、全巻全章段を把握するのに便利です。

【本館閲覧室4階 913.434/KOB】

『平家物語を読む』(歴史と古典) 川合康 吉川弘文館 2009

歴史学研究と文学研究における現時点での到達点、最新の問題やこれからの課題を提起する意欲的な書。

【本館閲覧室4階 913.434/KAW】

延慶本『平家物語』を学ぶ

『延慶本平家物語の世界』栃木孝惟, 松尾葦江編 汲古書院 2009

延慶本(えんきようぼん)『平家物語』のあらすじや特徴について学ぶためには必読の書です。

- 『校訂延慶本平家物語』（1-12）栃木孝惟, 谷口耕一編 汲古書院 2000-  
本授業のテキストです。延慶本（えんきょうぼん）の最新校訂本文です。  
【本館閲覧室4階 913.434/KOU】
- 『延慶本平家物語全注釈』（刊行中）延慶本注釈の会編 汲古書院 2005-  
現在刊行中の延慶本の注釈書です。延慶本がどのように注釈されているか参考にしてください。  
【本館閲覧室4階 913.434/ENK】
- 『延慶本平家物語』（大東急記念文庫善本叢刊別巻1 第6巻）島津忠夫責任編集 汲古書院 2008  
テキストの原本の影印本（写真撮影した本）です。  
【本館閲覧室2階 081/DAI】
- 『延慶本平家物語』（本文篇・索引篇）北原保雄, 小川栄一編 勉誠社 1990-1996  
現在もっとも多く用いられる延慶本本文です。ふりがなが親切に付されています。索引篇は人物や地名などの固有名が他の巻でどのように登場しているか調べるために必要です。  
【本館閲覧室4階 913.45/E62】
- 『延慶本平家物語論考』水原一著 加藤中道館 1979  
延慶本を対象にした本格的な研究書。延慶本という本がどのような本なのか知ることができます。  
【本館閲覧室4階 913.45/MI94】
- 『平家物語成立過程考』武久堅著 桜楓社 1986  
延慶本に関する研究論文が多く収められた研究書。延慶本がどのように成立したのか考える際、参考になる知見が多く示されています。  
【本館閲覧室4階 913.45/TA61】
- 『延慶本平家物語考証』（1-4）水原一編 新典社 1992-  
『延慶本全注釈』の前身となった研究会での研究成果が多く収められています。  
【本館閲覧室4階 913.434/ENK】
- 『平家物語』の本文と注釈
- 『平家物語』（上・下）（日本古典文学大系32,33）高木市之助ほか校注 岩波書店 1959-1960  
一般的によく読まれている「覚一本」系本文を利用する場合は、こちらの龍谷大学本を使います。  
【本館閲覧室4階 918/N77】
- 『平家物語』（1・2）（新編日本古典文学全集45,46）市古貞次校注・訳 小学館 1994  
底本は高野本。中高の教科書にも採られています。現代語訳が付されているので、古文の解釈が苦手な人は参照しましょう。  
【本館閲覧室4階 918/SH69】
- 『平家物語全注釈』（上・中・下1-2）富倉徳次郎注釈 角川書店 1966-1968  
底本は葉子十行本で、上の覚一本とは異なる部分があります。注釈が詳細でとても参考になります。  
【本館閲覧室4階 913.45/TO53】
- 『平家物語』（上・中・下）水原一校注 新潮社 1979-1981  
底本は百二十句本です。「断絶平家」で終わる『平家物語』の最も親しみやすい注釈書です。これを朗読録音したCDもあります。  
【本館閲覧室4階 913.434/HEI】
- 『平家物語』（上・下）福田晃 [ほか] 校注 三弥井書店 1993-2000  
覚一本系統の京師本を底本にしています。頭注が秀逸で、参考にすべき研究論文が紹介されています。  
【本館閲覧室4階 913.434/HEI】
- 『長門本平家物語』（1-4）麻原美子・小井土守敏 勉誠出版 2004-2006  
延慶本と最も近い関係にある長門本の最新翻刻本文。延慶本で読みにくい箇所があったら長門本を参照してみましょう。  
【本館閲覧室4階 913.434/NAG】

## 視聴覚資料 図書館には、ビデオやDVDも置いてあります。

のついている資料は、授業期間中（10月～2月）はケースが本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。  
ケースを持ってカウンターで借り出し、1階の視聴覚室で視聴して下さい。

- 『原典平家物語』（DVD）（巻第一～巻第十二+灌頂巻）  
『平家物語』全一二巻のテキストをさまざまな名優が朗読し、場面がイメージできるような映像演出がされています。  
【本館1階視聴覚資料 913.434/GEN】
- 『平家物語人物紀行』（ビデオ）全5巻（各巻40分）  
平家物語の主人公たちに焦点を当て、それぞれの人物像を明らかにし、当時を偲ぶ絵巻等の資料や、今日の風景などを織り交ぜ、平家物語を鑑賞します。  
【本館1階視聴覚資料 913.434/HEI】

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

作成：千葉大学附属図書館 2010.10.1